

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	14 05 05	中期総合計画主要施策番号	4-01	担当課	部・課	教育委員会事務局 教学指導課	
事業名	個性ある教育課程づくり				内 線	4389	
					E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H 6 ~	根拠法令等					
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	県単独事業

事業概要等	目的(必要性)	すべての生徒に確かな学力を保障し、一人ひとりの個性を伸ばし、希望する進路を保障するための教育課程の弾力化(多様化、特色化、個別化)を図る。				
	対 象	県立高等学校の生徒				
	目指すべき姿	学校として可能な限り教育課程を弾力化する。そのために必要な非常勤講師を配置し、生徒の希望や学力、進路に対応した教育課程を設け、個性を伸張する教育を推進する。				
	事業内容	弾力的な教育課程を実施するために必要な非常勤講師を学校に配置する。				

事業コスト	区 分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 報酬(非常勤講師):110,488 千円
	最終予算額 (A)	千円	122,191	110,788	104,044	
	決 算 額 (B)	千円	111,101	110,721		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	111,101	110,721	104,044	
	概 算 人件費	人	0.50	0.50	0.50	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	115,260	114,917	108,173	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 決算額(予算額)/非常勤講師任用者数
	非常勤講師配置校数(当初)(活)	校	78	80	80	
	非常勤講師任用者数(当初)(活)	人	213	207	198	
	コース制+類型制 導入校数(活)	校	68	68	68	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 非常勤講師配置	千円/人	522	535	525	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価				評価区分 b 期待どおり
	学力向上、進路保障、キャリア教育の充実のために、すべての高校でコース制、選択制、類型制等の教育課程の弾力化を実施する。	・すべての高校でコース制・類型制や選択制を導入し、その結果進路選択の幅が広がり、個々への指導がより細やかに行えるようになった。 ・センター試験受験者数の増加をはじめとする進路結果だけでなく、日々の生徒指導においても、生徒が意欲的に学習できるようになり、県全体では、中退者数が平成21年度626人から22年度619人と減少傾向にある(H23集計中)。また、4年制大学進学率も平成22年度38.4%から23年度38.7%と増加傾向にある。				

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	学力向上、進路保障、キャリア教育の充実という課題に対処するため、一人ひとりの個性伸張がはかれる教育課程の弾力化を図ることの必要性は増している。生徒・保護者のニーズに応え時代の変化に対応すべくコース制や類型制、選択制の中身(開設講座や指導の内容)の一層の充実を進める必要がある。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	すべての学校で、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、希望する進路実現に必要な学力を保障し、生徒のニーズに対応した教育課程の弾力化を進めていく必要がある。 なお、今年度より新たな指標として生徒の教育課程に対する満足度調査を実施する予定である。				
	特記事項					